

厚生労働省  
群馬労働局発表  
令和5年4月28日

【照会先】  
群馬労働局労働基準部健康安全課  
課長 芳賀 裕  
地方産業安全専門官 鈴木 淳  
(電話) 027-896-4736

報道関係者 各位

## 令和4年の労働災害発生状況について（確定） － 死亡者数が過去最少、死傷者数は大幅増加 －

群馬労働局（局長 <sup>かとうひろと</sup>加藤博人）は、令和4年（確定値）及び令和5年3月末（速報値）の労働災害発生状況について、以下のとおり取りまとめを行いました。

### 【 労働災害発生状況の概要 】

#### 1 令和4年 労働災害発生状況

(1) **死傷者数** <sup>(※1)</sup> **5,178人** 前年比 **2,443人(89.3%)増加**

《 前年と比較した主な特徴 》

##### ① 業種別

- ・死傷者数の多い主な業種  
保健衛生業 2,560人、製造業 944人、商業 382人
- ・死傷者の増加した主な業種  
保健衛生業 2,139人(508.1%)、製造業 160人(20.4%)増加

##### ② 事故の型別

- ・死傷者数の多い主な事故の型  
「その他」2,961人、「転倒」598人、「動作の反動・無理な動作」403人
- ・死傷者数の増加した主な事故の型  
「その他」2,390人(418.6%)、「転倒」73人(13.9%)、  
「はさまれ・巻き込まれ」34人(10.8%)増加
- ・死傷者数の減少した主な事故の型  
「墜落・転落」42人(10.2%)減少

(2) **死亡者数** **6人** 前年比 **8人(57.1%)減少**

《 前年と比較した主な特徴 》

##### ① 業種別

- ・死亡者数の多い業種  
製造業 3人(前年5人)
- ・死亡者数の増加した業種  
林業 1人(前年0人)

- ・死亡者数の減少した主な業種  
建設業 1 人（前年 6 人）、製造業 3 人（前年 5 人）

## ② 事故の型別

- ・死亡者数の多い事故の型  
「はさまれ・巻き込まれ」 2 人

## 2 令和 5 年 労働災害発生状況（令和 5 年 3 月末日現在（速報値））

※ 死亡者数については、本日時点で把握している人数を記載しています。

- (1) 死傷者数 698人 前年同期比 3人 (0.4%) 減少  
死亡者数 6人 前年同期比 5人 (500.0%) 増加

《 前年同期と比較した主な特徴 》

- ・死亡者数が大幅に増加、死傷者数はほぼ同数

業種別では、保健衛生業(223人→325人)、建設業(37人→43人)などで増加。  
接客娯楽業(91人→18人)、製造業(145人→124人)などで減少。

## 3 労働災害の推移

群馬労働局管内の労働災害による死傷者数は、昭和 54 年の 6,325 人をピークに長期的には減少したものの、近年は 2,000 人台で増減を繰り返し、令和 2 年からは増加傾向にあったところ、令和 4 年は、新型コロナウイルス感染症が大きく影響し、昭和 59 年(5,419 人)以来 38 年ぶりに 5,000 人台の水準まで増加しました。

一方で、令和 4 年における労働災害による死亡者数(6 人)は、過去最も少ない数となりました。

## 4 労働局の取組

群馬労働局では、第 14 次労働災害防止計画に基づく推進計画（令和 5 年度～令和 9 年度）を策定し、労働災害が増加している中高年齢労働者を中心とした行動災害<sup>(※2)</sup>の防止や、未熟練労働者等にかかる労働災害の防止などに重点を置きながら、労働災害防止対策を推進します。

(※1) 「死傷者数」… 死亡及び休業 4 日以上之死傷者数

(※2) 「行動災害」… 「転倒」、「動作の反動・無理な動作」など職場における労働者の作業行動に起因する労働災害

資料 1 「群馬労働局管内における労働災害の推移」

資料 2 「年別・事故の型別の労働災害発生件数」

資料 3 「群馬労働局管内における労働災害発生状況」

資料 4 「令和 4 年 労働者死傷病報告受理件数表」

資料 5 「令和 4 年 死亡災害事例」

【参考】 「令和 3 年 死亡災害事例」

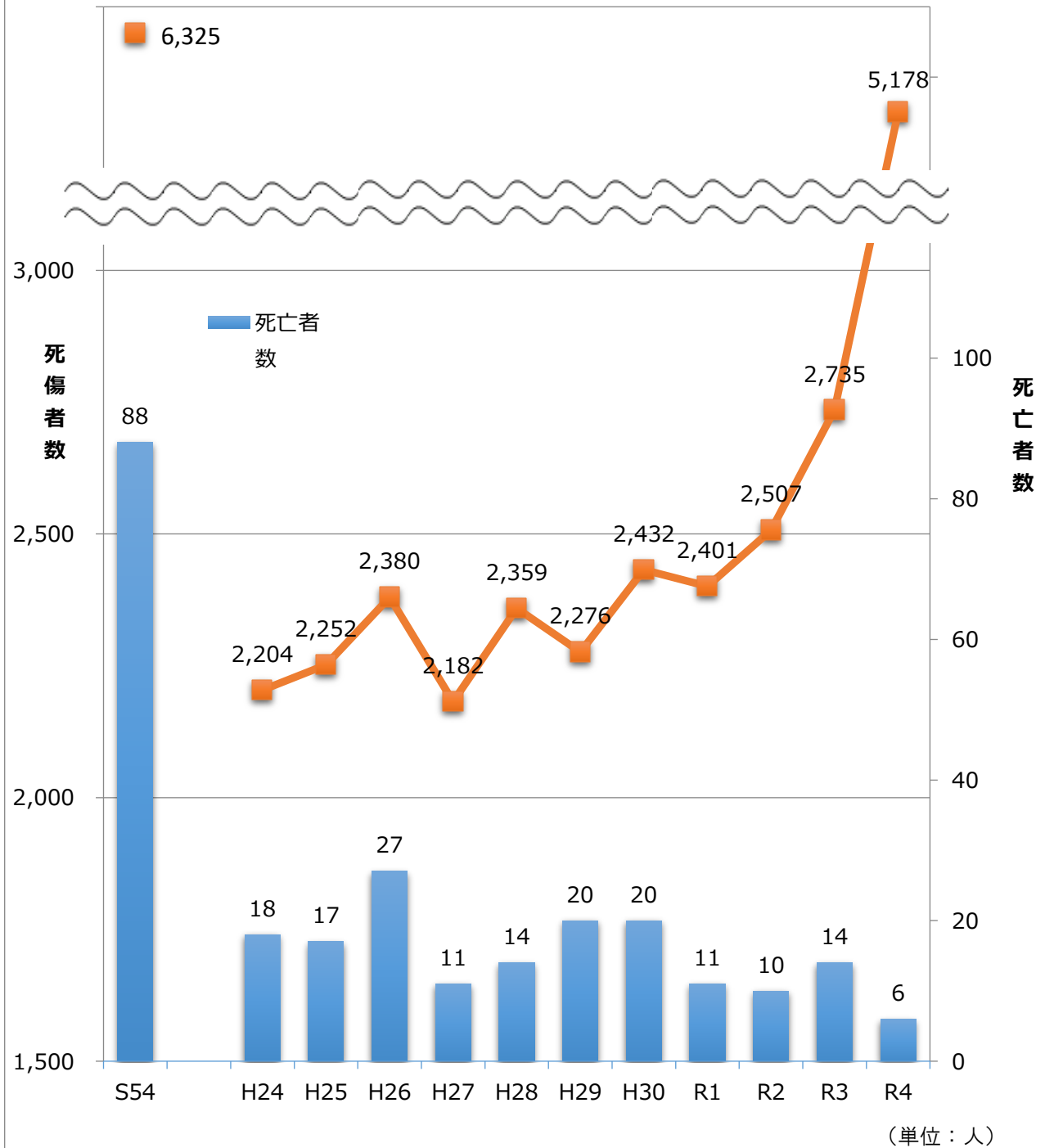
資料 6 「令和 4 年 死亡災害発生状況」

資料 7 「令和 5 年 労働者死傷病報告受理件数表」

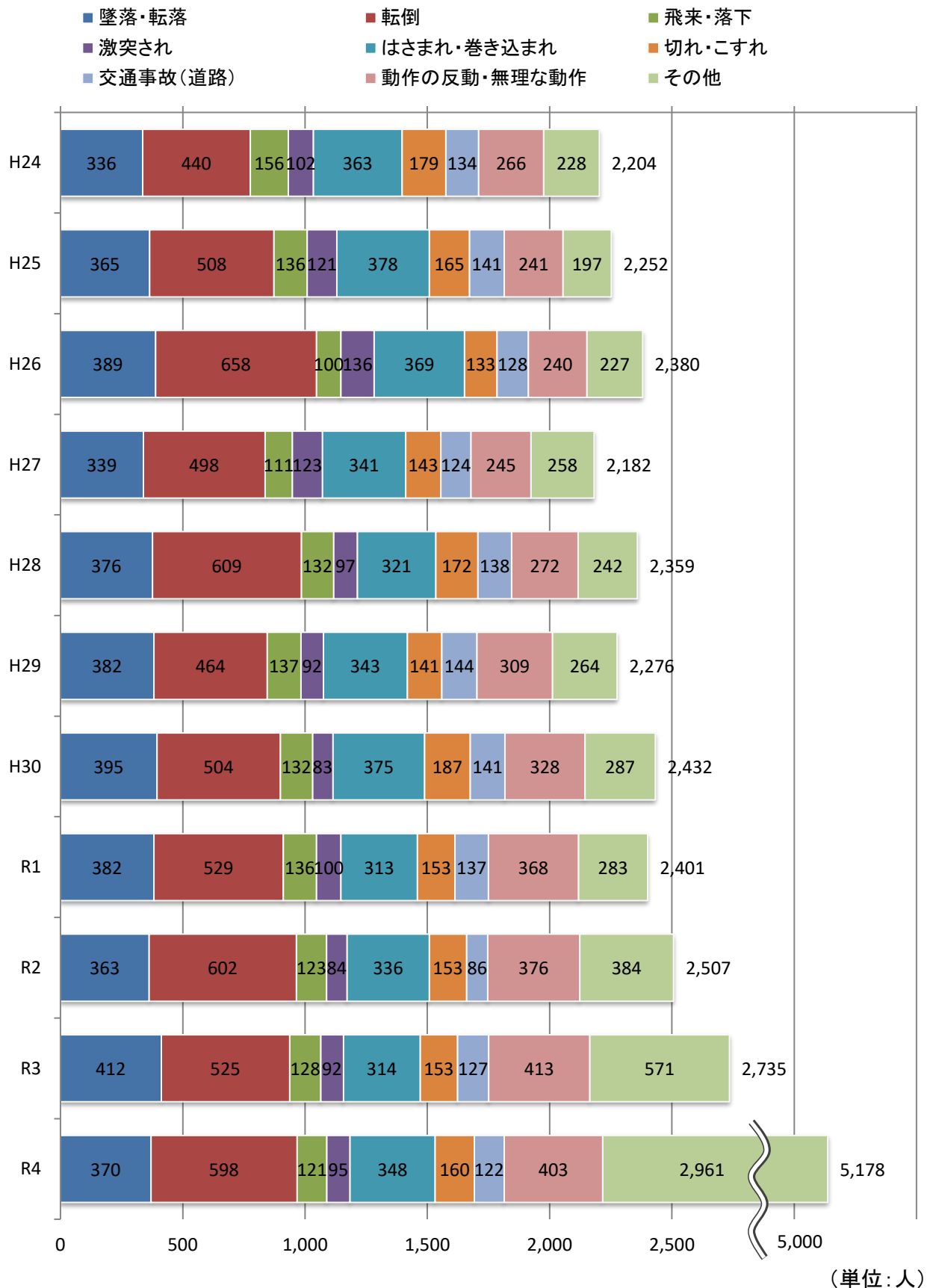
資料 8 「令和 5 年 死亡災害事例」

資料 9 「第 14 次労働災害防止計画に基づく群馬労働局推進計画の骨子」

## 群馬労働局管内における労働災害の推移



## 年別・事故の型別の労働災害発生件数



## 群馬労働局管内における労働災害発生状況

## (1) 業種別の状況

## ア 死傷者数が多い業種

業種別	死傷者数	前年同期	前年同期比 増減数	増減率	全産業に占める割合	
製造業	944	784	160	20.4%	18.2%	
食料品	291	221	70	31.7%	製造業に 占める 割合	30.8%
金属製品	129	114	15	13.2%		13.7%
輸送用機械等	139	122	17	13.9%		14.7%
建設業	253	262	-9	-3.4%	4.9%	
土木工事	64	76	-12	-15.8%	建設業に 占める 割合	25.3%
建築工事	131	139	-8	-5.8%		51.8%
その他の建設	58	47	11	23.4%		22.9%
運輸交通業	324	321	3	0.9%	6.3%	
道路貨物運送	308	303	5	1.7%	5.9%	
商業	382	374	8	2.1%	7.4%	
小売業	305	285	20	7.0%	5.9%	
保健衛生業	2,560	421	2,139	508.1%	49.4%	
社会福祉施設	1,363	284	1,079	379.9%	26.3%	
その他	715	573	142	24.8%	13.8%	
合計	5,178	2,735	2,443	89.3%	100.0%	

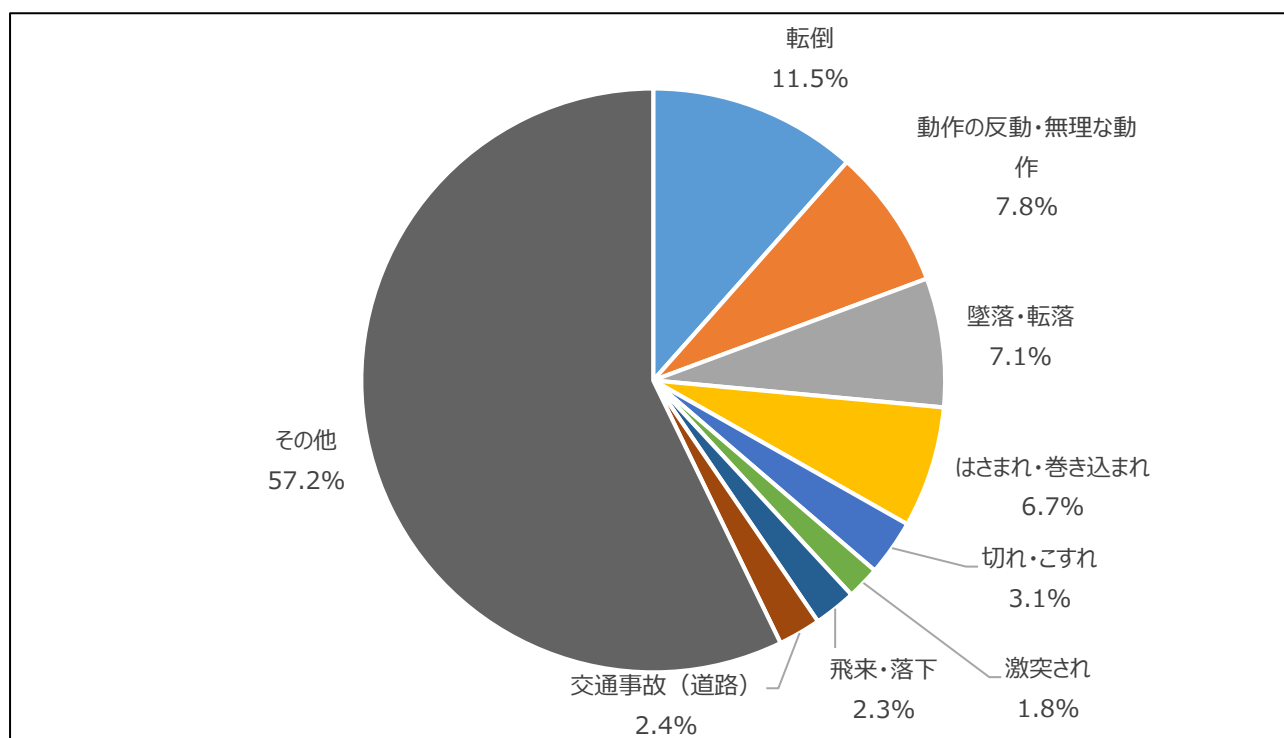
## イ 死亡災害発生状況

業種	平成 30 年	令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年
製造業	3	1	2	5	3
建設業	6		2	6	1
運輸交通業	3	5	2	1	
農林業	3	1	1		1
商業		3	2		
保健衛生業	1				
接客娯楽業	1				
その他	3	1	1	2	1
合計	20	11	10	14	6

## (2) 事故の型別の状況

### ア 全産業

業種	転倒	無 理 な 動 作 の 反 動	墜 落 ・ 転 落	巻 き 込 ま れ ・ は さ ま れ	切 れ ・ こ す れ	激 突 さ れ	飛 来 ・ 落 下	交 通 事 故 ( 道 路 )	そ の 他	合 計
全産業	598	403	370	348	160	95	121	122	2,961	5,178
割合	11.5%	7.8%	7.1%	6.7%	3.1%	1.8%	2.3%	2.4%	57.2%	100.0%
前年増減数	73	-10	-42	34	7	3	-7	-5	2,390	2,443
前年増減比	13.9%	-2.4%	-10.2%	10.8%	4.6%	3.3%	-5.5%	-3.9%	418.6%	89.3%



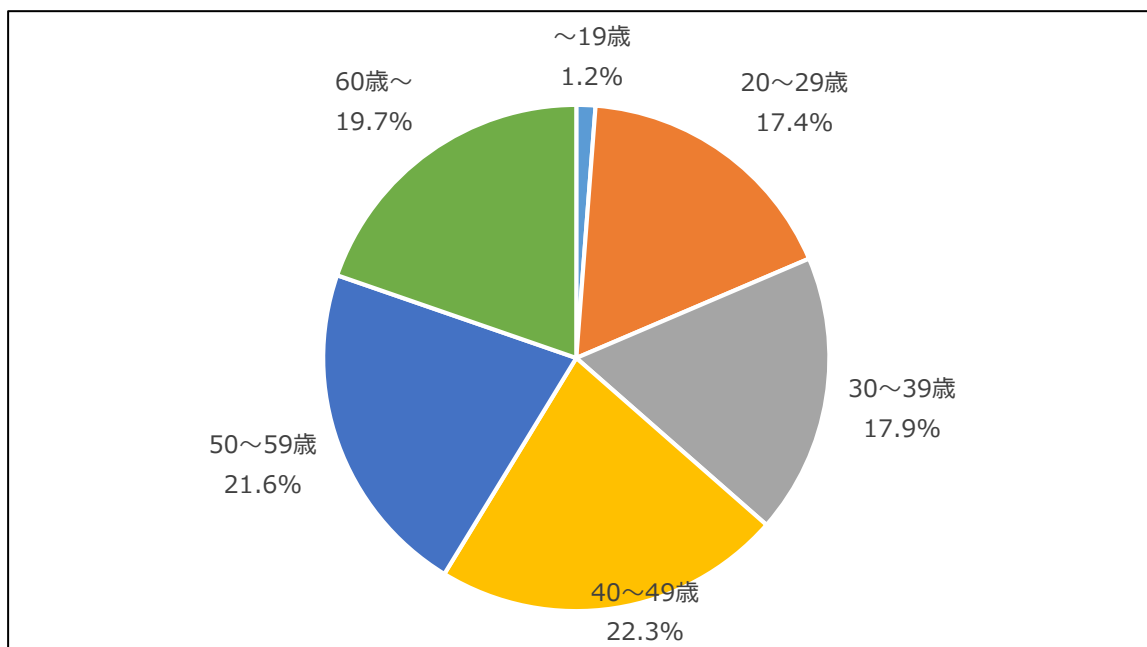
イ 死傷者数が多い業種

	転倒	無 理 な 動 作 の 反 動 ・	墜 落 ・ 転 落	巻 き 込 ま れ ・ は さ ま れ	切 れ ・ こ す れ	激 突 さ れ	飛 来 ・ 落 下	交 通 事 故 ( 道 路 )	そ の 他	合 計
製造業	152	96	76	186	77	35	50	3	267	944
割合	16.1%	10.2%	8.1%	19.7%	8.2%	3.7%	5.3%	0.3%	28.3%	100.0%
前年増減比	19.7%	6.7%	13.4%	-4.1%	16.7%	25.0%	-2.0%	-50.0%	55.7%	20.4%
建設業	24	20	50	46	23	9	21	8	48	253
割合	9.5%	7.9%	19.8%	18.2%	9.1%	3.6%	8.3%	3.2%	19.0%	100.0%
前年増減比	14.3%	-33.3%	-40.5%	64.3%	27.8%	-10.0%	-22.2%	33.3%	3.2%	-3.4%
運輸交通業	53	50	94	44	3	8	15	12	37	324
割合	16.4%	15.4%	29.0%	13.6%	0.9%	2.5%	4.6%	3.7%	11.4%	100.0%
前年増減比	15.2%	-9.1%	-15.3%	100.0%	-40.0%	-33.3%	0.0%	-14.3%	0.0%	-0.9%
道路貨物運送	48	47	91	43	3	8	15	11	36	308
割合	15.6%	15.3%	29.5%	13.9%	1.0%	2.6%	4.9%	3.6%	11.7%	100.0%
前年増減比	23.1%	-9.6%	-15.7%	104.8%	-40.0%	-27.3%	0.0%	-15.4%	0.0%	1.7%
商業	105	64	39	23	27	13	13	36	61	382
割合	27.5%	16.8%	10.2%	6.0%	7.1%	3.4%	3.4%	9.4%	16.0%	100.0%
前年増減比	10.5%	-5.9%	-4.9%	-17.9%	50.0%	8.3%	-23.5%	5.9%	15.1%	2.1%
小売業	87	53	26	15	23	11	11	33	47	305
割合	28.5%	17.4%	8.5%	4.9%	7.5%	3.6%	3.6%	10.8%	15.4%	100.0%
前年増減比	8.75%	-1.9%	0.0%	-11.8%	91.7%	37.5%	-15.4%	3.1%	23.7%	7.0%
保健衛生業	85	111	20	6	0	7	5	5	2,313	2,560
割合	3.3%	4.3%	0.8%	0.2%	0.0%	0.3%	0.2%	0.2%	90.4%	100.0%
前年増減比	7.6%	1.8%	-20.0%	-25.0%	0.0%	16.7%	400.0%	-44.4%	1237.0%	508.1%
社会福祉施設	68	91	14	4	0	6	4	3	1,166	1,363
割合	5.0%	6.7%	1.0%	0.3%	0.0%	0.4%	0.3%	0.2%	85.5%	100.0%
前年増減比	15.3%	8.3%	0.0%	-20.0%	0.0%	0.0%	300.0%	-40.0%	1032.0%	379.9%

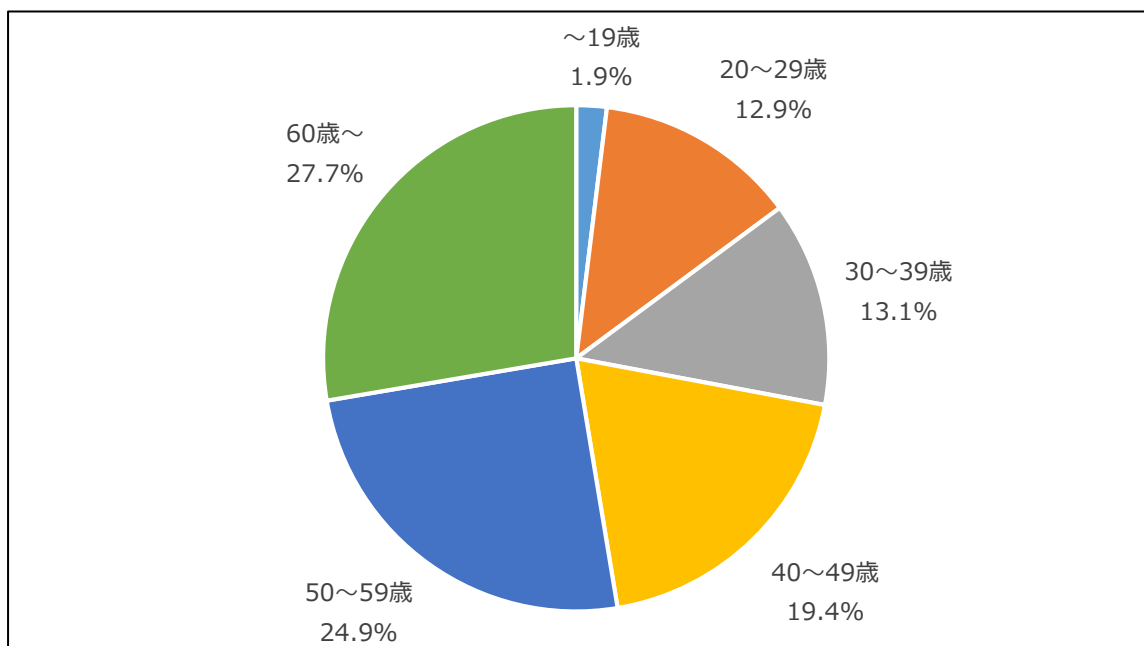
### (3) 年齢別の状況

#### ア 全産業

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳～	合計
全産業	63	899	926	1,153	1,117	1,020	5,178
割合	1.2%	17.4%	17.9%	22.3%	21.6%	19.7%	100.0%
前年増減比	57.5%	139.1%	136.8%	111.6%	66.5%	43.3%	89.3%



《参考》新型コロナウイルス感染症を除く



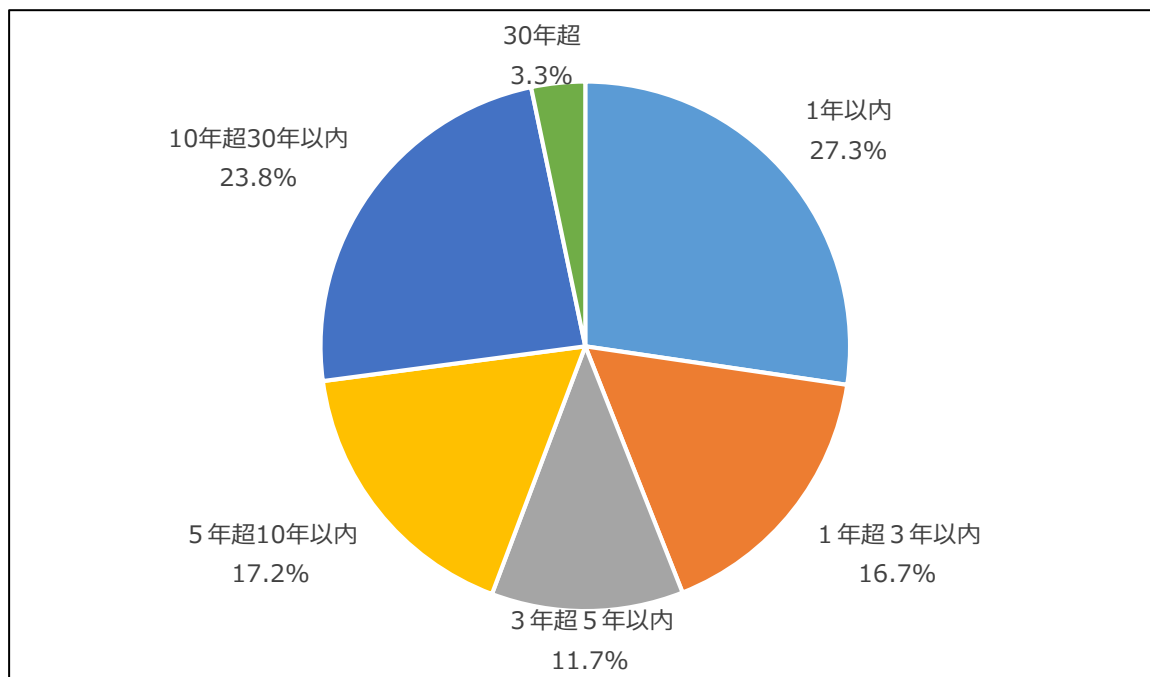


イ 死傷者が多い業種

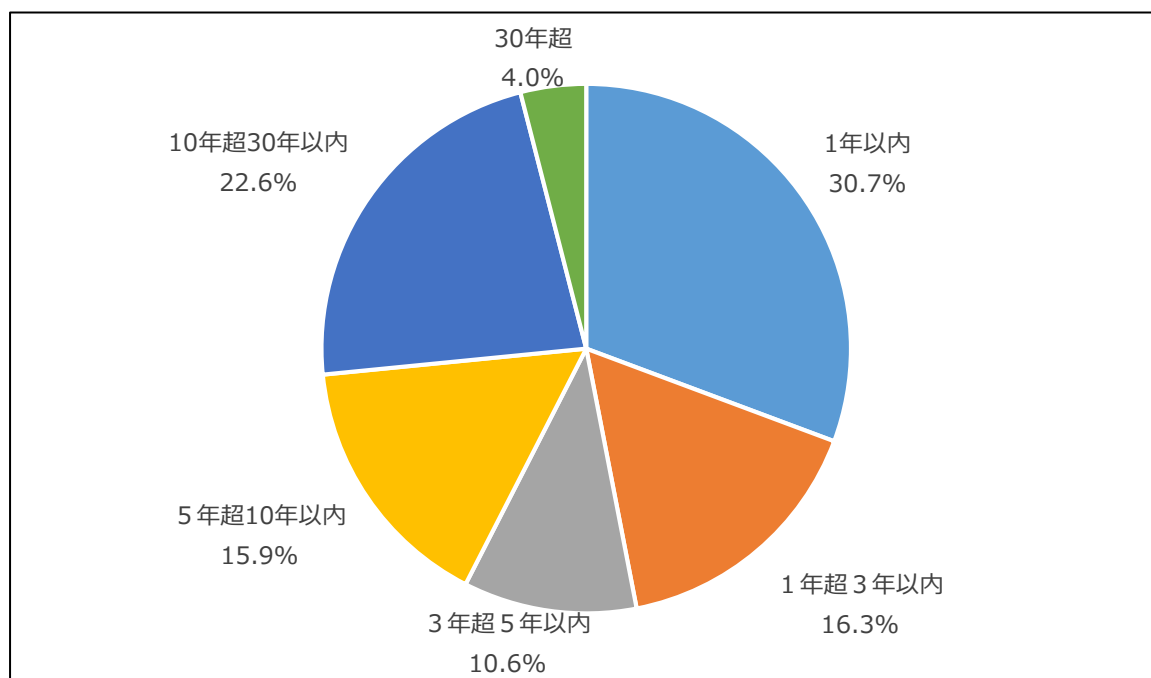
	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳～	計
製造業	17	159	173	190	209	196	944
割合	1.8%	16.8%	18.3%	20.1%	22.1%	20.8%	100.0%
前年増減比	70.0%	18.7%	20.1%	13.8%	10.6%	40.0%	20.4
建設業	7	54	47	57	38	50	253
割合	2.8%	21.3%	18.6%	22.5%	15.0%	19.8%	100.0%
前年増減比	16.7%	5.9%	20.5%	-1.7%	-7.3%	-25.4%	-3.4%
運輸交通業	4	31	37	65	115	72	324
割合	1.2%	9.6%	11.4%	20.1%	35.5%	22.2%	100.0%
前年増減比	100.0%	40.9%	8.8%	-11.0%	-9.4%	14.3%	0.9%
道路貨物運送	4	27	37	63	112	65	308
割合	1.3%	8.8%	12.0%	20.5%	36.4%	21.1%	100.0%
前年増減比	100.0%	22.7%	15.6%	-11.3%	-5.9%	14.0%	1.7%
商業	12	35	44	76	98	117	382
割合	3.1%	9.2%	11.5%	19.9%	25.7%	30.6%	100.0%
前年増減比	200.0%	-30.0%	-13.7%	13.4%	5.4%	7.3%	2.1%
小売業	12	29	33	54	75	102	305
割合	3.9%	9.5%	10.8%	17.7%	24.6%	33.4%	100.0%
前年増減比	200.0%	-12.1%	0.0%	14.9%	-2.6%	12.1%	7.0%
保健衛生業	9	488	537	652	505	369	2,560
割合	0.4%	19.1%	21.0%	25.5%	19.7%	14.4%	100.0%
前年増減比	28.6%	876.0%	825.9%	667.1%	395.1%	210.1%	508.1%
社会福祉施設	8	189	231	339	335	261	1,363
割合	0.6%	13.9%	16.9%	24.9%	24.6%	19.1%	100.0%
前年増減比	166.7%	687.5%	579.4%	539.6%	352.7%	171.9%	379.9%

(4) 経験年数別の状況

	1年以内	1年超 3年以内	3年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超 30年以内	30年超	合計
全産業	1,415	864	607	889	1,233	170	5,178
R3	798	506	284	438	596	113	2,735
割合	27.3%	16.7%	11.7%	17.2%	23.8%	3.3%	100.0%
前年増減比	77.3%	70.8%	113.7%	103.0%	106.9%	50.4%	89.3%



《参考》新型コロナウイルス感染症を除く



# 令和4年 労働者死傷病報告受理件数表

資料4

令和5年3月末確定  
群馬労働局

業種別	署別	高崎	前橋	桐生	太田	沼田	藤岡	中之条	群馬局計	前年同期	増減
製造業		186	1	81	2	54	47	23	3	5	-2
	食料品製造業	71	315	10	238	41	11	1	291	221	70
建設業		53	78	20	57	21	14	10	1	6	-5
	木造家屋等建築工事業	3	12		3	1	2		21	40	-19
運輸交通業		46	155	14	78	15	10	6	324	1	-1
	道路貨物運送業	41	150	14	78	11	9	5	308	321	3
林業		2	1	3		5	5	2	1	1	1
		2	3	3		5	5	2	20	24	-4
小売業		63	130	20	55	19	14	4	305	285	20
社会福祉施設		399	462	74	173	113	111	31	1,363	284	1,079
接客娯楽業		34	58	9	13	95	6	46	261	147	114
	飲食店	21	30	4	7	2	4	2	70	63	7
上記以外の事業		319	860	99	236	109	27	58	1	2	-1
	清掃・と畜業	19	54	5	23	4	5	2	1,708	628	1,080
計		1,102	2	320	2	431	234	180	6	14	-8
		1,102	2,061	320	850	431	234	180	5,178	2,735	2,443
前年同期		6	4	250	1	114	128	96	14		
増減		-6	-2	70	1	317	106	84	-8		
		608	945	70	313	317	106	84	2,443		

## 災害の種類別

災害の種類別・署別	高崎	前橋	桐生	太田	沼田	藤岡	中之条	群馬局計	前年同期	増減	
事故の型別	墜落・転落	67	149	17	73	28	18	18	2	-2	
	転倒	121	236	45	93	45	29	29	412	-42	
	はさまれ・巻き込まれ	76	1	21	1	14	16	3	1	-1	
	切れ・こすれ	39	109	21	109	14	16	3	525	73	
	動作の反動・無理な動作	90	70	8	26	6	9	2	2	3	-1
		90	183	21	67	19	15	8	348	314	34
起因物別	建設機械等	7	9	1	6	4	2		160	153	7
	食品加工用機械	11	23	1	5	2	5		403	413	-10
	トラック	37	61	11	54	7	7	4	29	28	1
外国人の災害	42	105	7	66	18	4	4	47	42	5	
建設公共工事の災害	5	9	2	8	6	3	1	181	3	-3	
	5	9	2	8	6	3	1	246	202	-21	
	42	105	7	66	18	4	4	246	1	-1	
	5	9	2	8	6	3	1	34	214	32	
	5	9	2	8	6	3	1	34	3	-2	
	5	9	2	8	6	3	1	34	48	-14	

注1 この表は、死亡及び休業4日以上の労働者死傷病報告を集計しています。  
 2 各項目の下欄は死傷者数合計、上欄は死亡者数で下欄の数の内数です。  
 3 下の表は災害の種類別で、特に項目を設定して集計しています。

## 令和4年 死亡災害事例

令和5年3月末確定  
群馬労働局

番号	発生月 発生時間帯 事業場規模	年齢 職種	災害のあらまし	業種	事故の型別	起因物別
1	2月 17時頃 10～29人	50歳代 作業員	自動車エアコンのコンプレッサー部品を製造するラインにおいて、当該部品を乗せるためのパレットの下降装置に頸部から上を挟まれた。	自動車・同付属品 製造業	はさまれ、 巻き込まれ	その他の 動力運搬機
2	5月 10時頃 1～9人	50歳代 作業員	胸高直径26cm、樹高9mの栗の木をチェーンソーで伐倒していたところ、偏心木だったこともあり、予定とは異なった方向に倒れ、下敷きになった。	木材伐出業	激突され	立木等
3	9月 10時頃 100～299人	40歳代 作業員	通常、入る必要のない円柱形のタンク（高さ1.6m×直径1.3m）の中に何らかの理由で立ち入ったことにより、一酸化炭素中毒となった。	その他の 化学工業	有害物等と の接触	その他の 危険物、有 害物等
4	9月 17時頃 100～299人	20歳代 作業員	製造ラインにある昇降装置（長さ2m×幅1m、昇降高1m）の油圧ホースを一人で交換作業中、昇降台と床面の間にはさまれた。	金属製家具 製造業	はさまれ、 巻き込まれ	その他の 動力運搬機
5	12月 8時頃 30～49人	60歳代 誘導員	片側一車線の国道で、工事に伴う片側交互通行誘導警備を行っていたところ、停止の指示を無視した軽自動車にはねられた。	警備業	交通事故	乗用車・バ ス・バイク
6	12月 10時頃 1～9人	60歳代 潜水夫	ダムの水門設備改良工事において、ドライスーツを着用してダム湖内で作業を行っていたところ、ドライスーツへの給気が制御できず肺が圧迫された。	水力発電所 等建設工事 業	その他	その他の用 具

## 令和3年 死亡災害事例

令和4年3月末確定  
群馬労働局

番号	発生月 発生時間帯 事業場規模	年齢 職種	災害のあらまし	業種	事故の型別	起因物別
1	1月 21時頃 1～9人	70歳代 作業員	倉庫2階において、天井クレーンで凍結防止剤を散布車へ積込む作業の準備中に、搬入口の開口部（高さ4.4m）から墜落した。	土木工事業	墜落、転落	開口部
2	1月 15時頃 1～9人	70歳代 作業員	高速道路のインターチェンジ出口付近の伐採作業現場において、撤収作業のため高所作業車の後進を誘導していた被災者が同車に轢かれた。	土木工事業	交通事故 (道路)	高所作業車
3	1月 11時頃 1～9人	20歳代 土工	浄化槽埋設のための掘削作業において、打設した鋼矢板の一部が傾いてきたので、当該鋼矢板を一旦外し、掘削部内で2名で地ならしをしていたところ、地山が崩壊し、1名が全身埋まり、もう1名が膝まで埋まった。	土木工事業	崩壊、倒壊	地山、岩石
4	1月 8時頃 1～9人	20歳代 運転者	木造住宅新築工事現場において、搬入した建材（約縦300×横90×厚1cm）35枚の束（ラップで結束。重さ約350kg）をナイロンスリング2本を使用してホイールクレーンのフックに玉掛けし、荷台上で介添えをしようとしていたところ、つり荷が背部、頭部に激突した。	道路貨物 運送業	激突され	木材、竹材
5	3月 16時頃 10～29人	30歳代 作業員	コンクリートブロック成型機の型を代えるため、エアを抜いてボルト締めをしていたところ、成型機上部が下降し、成型機上部と下部の間に頭部がはさまれた。	窯業・ 土石製品 製造業	はさまれ、 巻き込まれ	その他の 一般動力 機械
6	5月 13時頃 1～9人	70歳代 土工	S造2階建て新築工事において、ドラグ・ショベルで碎石の山を移動させていた被災者が降車し、当該ドラグ・ショベルのアーム等の様子を確認していたところ、別の作業員が後進させたダンプトラックのあたりとドラグ・ショベルのアームとの間に胸部、頭部をはさまれた。	建築工事業	激突され	トラック
7	6月 10時頃 100～299人	30歳代 鍛造工	ショットブラスト機で、鍛造前の材料をブラスト処理する作業において、付属の巻上装置にて材料の入ったバケットをつり上げ、材料を投入口に自動搬送していたところ、投入口付近を覗き込んでいた被災者が、ショットブラスト機の扉とバケットに頭部をはさまれた。	製鉄・ 製鋼・ 圧延業	はさまれ、 巻き込まれ	その他の 金属加工用 機械
8	6月 14時頃 30～49人	40歳代 作業員	天井クレーンを使用して、鉄鋼スラグの入っている容器「スラグパン」をつり上げたところ、スラグパンが振れ、隣接のスラグパンとの間に頭部をはさまれた。	その他の 鉄鋼業	激突され	クレーン
9	6月 11時頃 1～9人	50歳代 運転者	堆肥で使用する木くずを運送するため、トラックを運転して県道を走行中、急カーブを曲がり切れず、ガードレールを突き破って、20m下の国道に転落した。	産業廃棄物 処理業	交通事故 (道路)	トラック

番号	発生月 発生時間帯 事業場規模	年齢 職種	災害のあらまし	業種	事故の型別	起因物別
10	7月 11時頃 1～9人	70歳代 作業者	工場内において、被災者が何らかの原因で転倒し、近くのフライス盤の角に左前頭部をぶつけ、そのまま床に倒れ後頭部を打った。	機械器具 製造業	転倒	作業床、 歩み板
11	9月 8時頃 1～9人	50歳代 作業者	法面工事現場において、作業を始めるため法面を昇っていたところ、親綱が法枠を構成する金網に擦れて切れ、約10mの高さから墜落した。（ライフラインに安全帯が取り付けられていなかった。）	砂防工事業	墜落、転落	その他の 用具
12	9月 17時頃 10～29人	40歳代 製材工	全自動ツインバンドソーによる木材加工作業において、加工中の木材が、搬出される箇所とは異なる箇所へ落ちたため、その木材を取り除こうとしたところ、次工程へ木材を搬送するリフトの経路上で、リフトに腹部をはさまれた。	製材業	はさまれ、 巻き込まれ	その他の 動力運搬機
13	11月 13時頃 1～9人	60歳代 解体工	2階建て木造建築物の解体作業現場において、コンクリートブロック壁（高さ約2m×長さ約6m×幅0.15m）を解体中、解体ガラの整理作業を行っていた作業員が倒れてきたコンクリートブロック壁の下敷きになった。	木造家屋建 築工事業	崩壊、倒壊	建築物、 構築物
14	12月 12時頃 100～299人	40歳代 警備員	高速道路のパーキング入口付近において、路面工事による車線規制のため、規制区域内に設置した規制材の点検作業をしていたところ、規制区域内に進入してきた一般トラックに轢かれた。	警備業	交通事故 (道路)	トラック

## 令和4年 死亡災害発生状況

令和5年3月末確定  
群馬労働局

	令和2年	令和3年	令和4年	対2年比	対3年比
製造業	2	5	3	1	-2
建設業	2	6	1	-1	-5
運輸交通業	2	1		-2	-1
林業	1		1		1
商業	2			-2	
接客娯楽業					
その他	1	2	1		-1
計	10	14	6	-4	-8

# 令和5年 労働者死傷病報告受理件数表

資料7

令和5年3月末現在  
群馬労働局

業種別	署別	高崎	前橋	桐生	太田	沼田	藤岡	中之条	群馬局計	前年同期	増減
製 造 業		26	38	9	40	5	4	2	124	145	-21
	食料品製造業	9	10		9	1			29	47	-18
建 設 業		1	12	1	1	1	4	2	3	37	6
	木造家屋等建築工事業	10	2	4	10	1	4	2	43	37	6
運 輸 交 通 業		4	19	1	15	3	5		1	57	1
	道路貨物運送業	4	19	5	15	3	5		51	57	-6
林 業		1		1		1	1		1	5	1
		1		1		1	1		4	5	-1
小 売 業		9	16	7	13	3	2		50	56	-6
社会福祉施設		52	68	13	8	11	2	1	155	156	-1
接 客 娛 楽 業		2	3	2	4	2		5	18	91	-73
	飲食店	1	1	2	4				8	9	-1
上記以外の事業		49	144	16	20	10	4	10	253	154	99
	清掃・と畜業	5	6	1	2	1	1		16	18	-2
計		1		2	1		1		5	1	4
		153	300	57	110	36	22	20	698	701	-3
前年同期		157	134	31	148	152	49	30	701		
増 減		1		2			1		4		
		-4	166	26	-38	-116	-27	-10	-3		

## 災害の種類別

災害の種類別・署別	高崎	前橋	桐生	太田	沼田	藤岡	中之条	群馬局計	前年同期	増減	
事故の型別	墜落・転落	11	16	1	10	2	2	1	43	69	-26
	転倒	23	32	10	22	9	4	4	104	109	-5
	はさまれ・巻き込まれ	7	9	4	17	2	1	3	43	1	-1
	切れ・こすれ	10	10	1	12	1	3	1	38	57	-14
	動作の反動・無理な動作	12	30	9	14	2	3		70	25	13
起因物別	建設機械等		3	1	1		2		1	2	1
	食品加工用機械	2	3		2				7	7	5
	トラック	4	8	1	4	1	4		22	25	-3
外国人の災害	6	6	1	14	1			1	28	41	-13
建設公共工事の災害	1	2	2	2	1	2		2	3	2	
	3							12	9		

- 注1 この表は、死亡及び休業4日以上の労働者死傷病報告を集計しています。  
 2 各項目の下欄は死傷者数合計、上欄は死亡者数で下欄の数の内数です。  
 3 下の表は災害の種類別で、特に項目を設定して集計しています。



## 令和 5 年 死亡災害事例

令和 5 年 4 月 27 日 現在  
群馬労働局

番号	発生月 発生時間帯 事業場規模	年齢 職種	災害のあらまし	業種	事故の型別	起因物別
1	2月 15時頃 30～49人	50歳代 作業員	町道陥没箇所の見積り調査のため、ブロック積擁壁裏の浸食状況を確認していたところ、擁壁が傾き、擁壁と地山の間で下半身をはさまれた。	道路建設 工事業	崩壊、倒壊	建築物、 構築物
2	2月 0時頃 100～299人	40歳代 運転者	県外の荷主先敷地内でフォークリフトを使用してトラックから荷降ろし中、荷台の状況を確認するため、フォークリフトから降りてトラックの間にいたところ、フォークリフトが逸走してはさまれた。	一般貨物自動 車運送業	激突され	フォーク リフト
3	3月 16時頃 1～9人	20歳代 作業員	建築物の基礎工事中、丁張（木杭）を取り除くため、ドラグショベルの作業半径内に立ち入ったところ、旋回したドラグショベルのバケット部分に激突された。	鉄骨・鉄筋 コンクリート 造家屋 建築工事業	激突され	掘削用機械
4	3月 14時頃 10～29人	60歳代 作業員	杉の木（胸高直径45cm、樹高21m）を同僚が伐採したがかかり木となり、重機でかかり木を牽引処理する作業中、かかり木が倒れ、下敷きになった。	木材伐出業	激突され	立木等
5	3月 16時頃 1～9人	40歳代 作業員	太陽光パネルを高さ約3mの架台に設置するため、パネルを入れたラックをトラクターショベル（バケットをフォークに変更）で持ち上げ、ラックに脚立で上がって作業をしていたところ、ラックがフォークから脱落すると同時に墜落し、被災者の上にパネルが落下した。	機械器具 設置工事	墜落、転落	整地・運搬・ 積込み用機械
6	3月 15時頃 1～9人	50歳代 作業員	配水場改修工事でアンカーボルトの削孔を行うため、深さ5mのマンホール内に発電機（内燃機関）を設置し、使用していたところ、一酸化炭素中毒になった。（1人死亡、3人休業）	上下水道工事 業	有害物等との 接触	原動機

# 第14次労働災害防止計画に基づく 群馬労働局推進計画の骨子

令和5年(2023年)4月1日▶令和10年(2028年)3月31日

資料 9

## 計画のねらい

労働者の安全衛生対策は事業者の責務であることが前提であるが、さらに「費用としての  
人件費から、資産としての人的投資」への変革の促進が掲げられ、事業者の経営戦略の観点  
からもその重要性が増してきており、労働者の安全衛生対策が人材確保の観点からもプラス  
になることが知られ始めている。

こうした中で、労働者の安全衛生対策に積極的に取り組む事業者が社会的に評価される環  
境を醸成し、安全と健康の確保の更なる促進を図ることが望まれる。

## 8つの重点対策

5 個人事業者等に対する  
安全衛生対策の推進

6 業種別の  
労働災害防止対策の  
推進

陸上貨物運送事業／建設業／  
製造業／林業

7 労働者の  
健康確保対策の推進

メンタルヘルス／過重労働／産業保健活動

8 化学物質等による  
健康障害防止対策の  
推進

化学物質／石綿／粉じん／熱中症／  
騒音／電離放射線

1 自発的に  
安全衛生対策に  
取り組むための  
意識啓発

2 労働者の  
作業行動に起因する  
労働災害防止対策の  
推進

3 高年齢労働者の  
労働災害防止対策の  
推進

4 多様な働き方への  
対応や  
外国人労働者等の  
労働災害防止対策の  
推進